

ASIMO



日本科学未来館（東京都江東区）で、20年間にわたって展示案内などをしてきたホンダの二足歩行ロボット「ASIMO（アシモ）」が、3月末で「卒業」することが決まり、17日に記念式典が開かれた。（2022年03月18日）
（時事通信社）



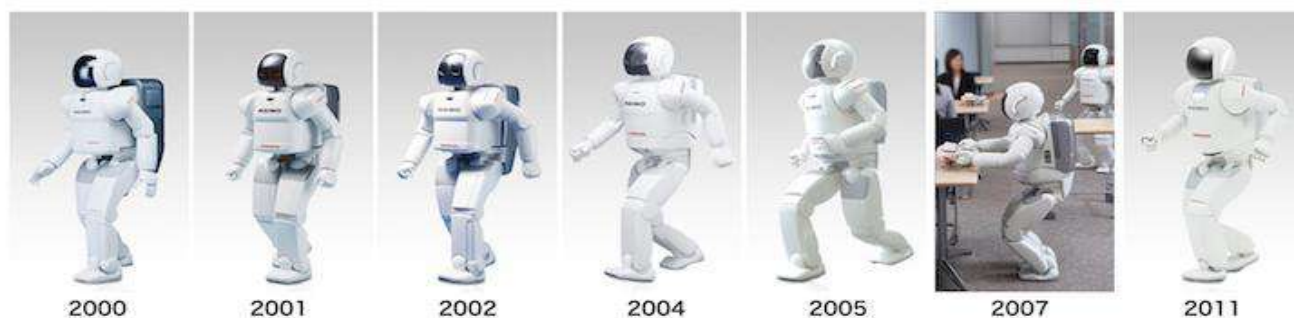
オバマ米大統領とパス交換
二足歩行ロボット「ASIMO（アシモ）」（右端）からボールのパスを受けるオバマ米大統領（左端）（東京都江東区の日本科学未来館）〔代表撮影〕
（2014年04月24日）
【時事通信社】

SMAPと競演

2000年12月31日、第51回NHK紅白歌合戦にゲスト出演（白を基調とした通常版とは異なり、赤と白のツートンカラーに塗られたスペシャルバージョンだった）



歴代のHonda2足歩行ロボット「ASIMO（アシモ）」（2000～



（image: Honda）2000年にASIMOが登場。2000年にi-WALK技術搭載、2001年にレンタル向けのカスタム、2002年に智能化技術搭載・ネットワーク対応、2004年に機敏な動きに対応、2005年にコミュニケーション能力向上、2007年複数のASIMOの連携サービス、2011年自律行動制御その他改善が行われた。

①初代ASIMOは6km/hだったが、2代目では最大速度9km/hで走ることができる。②脚の可動部も広く、ボールキックもできる。全身の関節自由度は57自由度となる。③手話で「アイラブユー」を表現した。④水筒のフタを握り開けることも。



ASIMO



ホンダが自律機械として開発したロボット「ASIMO」。
ASIMOは、AdvancedStep inInnovativeMobilityの意味で現在活躍しているのは2011年11月に誕生した2世代目である。
身長130cm、幅45cm、奥行き34cm、重量48kg。これが2代目ASIMOのサイズと重さだ。
歩く（走る）速さは9km/hで、初代の6km/hから3km/h速くなっている。

No tech No life 企業博物館に行ってみた Vol.2

ASIMOの祖先・兄弟10体が
休息する空間



以下 No tech No life 企業博物館に行ってみたVol.2 より抜粋しました

ASIMOに至るHondaの2足歩行ロボットの生みの親と言えるのが、ロボット開発のチーフを務めてきた広瀬真人氏。中途採用でHondaに入社したとたん「鉄腕アトムを作れ」と言われて驚いた、というのは有名な話である。

ASIMOは2000年11月の発表直後、年末の紅白歌合戦にも出場、SMAPとの競演も果たした。

もちろん、今でこそさまざまなパフォーマンスを軽々とこなすASIMOも、当時はまだ「生まれたばかり」。十数人のチームがF1ばりのサポート体制を組み、開発ツールも持ち込んで、この大舞台に挑戦したのだった。

「当然、動かすと不具合が出る。徹夜で対処して、次の練習を迎える。3日間、ほとんど眠っていません。そして30日の最終リハーサルになるのですが、ここで、床の柔らかさに気付いて愕然です。本番では60人のダンサーと一緒に踊る。当然、床が揺れる。『こんなとこ、ASIMOは歩けないよ』と言っても、今さら変更は利かない。

なんとかお願いして、出るときはダンサーの列で隠し、その後はサポート役が横に付く。それ以外のダンサーはなるべく遠くで踊ってもらう……それでも、まさに一発勝負。本当に手に汗握りました。しかし結果は見事に成功。あの日のことは忘れられません」

広瀬真人氏株式会社本田技術研究所 基礎技術研究センター 第2研究室 室長 上席研究員(当時)

歴代のHonda2足歩行ロボット

